



ペチュニアの育て方

Q. プランターでペチュニアを楽しみたいと思います。
育て方を教えてください。

A. 花付きのよい丈夫な品種を選び、肥料切れさせないようにして育てます。
害虫を防ぐことも大切です。

《ポイント》

開花期間が長く、雨にも強くなり、花色が豊富で、コンテナ、吊鉢、花壇で楽しめます。

1 品 種

クリーピア系（サカタ）…暑さに強くよく広がる。

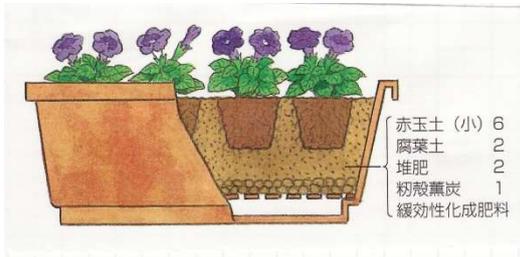
バカラ系…雨に強い。

ロンド系（タキイ）…極早生、花つきよい。

フラワー系（タキイ）…花卉に筋が入る。サフィニア（サントリー）強健、枝伸びがよい。

2 置き（植え）場所

4月上旬に日当たり、水はけのよい場所に植えます。



用土…赤玉土（小）：堆肥：腐葉土＝6：2：2。
これにパーライトを1割加えます。

3 植えつけ

株張りのよい、しまった苗を、根鉢を崩さずに植えます。

4 花がら摘みと切り戻し

咲き終わった花がらは早めに摘み取ります。

枝が伸びすぎて姿が乱れてきたらそのつど

1/3 くらいを切り戻します。





サクランボの実がならない

Q. 市内ではサクランボ栽培は無理でしょうか。

A. 暖地性の品種を植えて人工受粉をしてやれば実がつきます。

《ポイント》

主要品種は暖地では実をつけにくいので、‘暖地桜桃’、‘ステラ’などの品種を選び、異なる2品種を組み合わせで植えます。



1 品 種

‘佐藤錦’、‘ナポレオン’などの品種の栽培適地は長野県、山梨県が南限です。尼崎市内ではつくりにくいので‘暖地桜桃’、‘ステラ’、‘紅きらり’などの品種を選びます。果実は小さいのですがよく結実し、花粉が多いため受粉樹にもなります。

2 人工受粉

花が5分咲きと満開のときの2回、毛ばたき（水鳥の羽毛製のもの）で交互に花をなでてやります。

サクランボの花粉は親和性がことなりますから、親和性の高い品種を組み合わせないといけません。

受粉品種		花粉品種
ナポレオン	←	日の出、高砂、蔵王錦
高 砂	←	ナポレオン
佐藤錦	←	ナポレオン
蔵王錦	←	ナポレオン

3 断根（根切り）と捻枝

暖地の排水がよく、土層の深い庭では、枝が旺盛に伸びるため実つきが悪くなりがちです。植えつけ後、4～5年して目標とする樹高、枝数が確保できたら、1年おきに方向を変えるなどして溝を掘り、太い根を根本から30～50 cm 残して切り取り樹勢を調節します。

また、6月ごろに盛んに伸びると思われる枝の元を強く曲げ、水平以下に下がるようにします。こうして栄養成長を抑え、生殖成長を助長してやります。





ロケットサラダ (Rocket-salad) の育て方

Q. プランターでらくにできる野菜はありませんか。

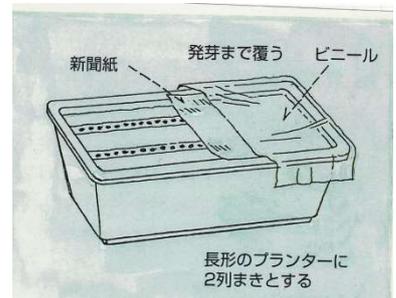
A. ロケットサラダ (ルッコラ) はどうでしょう。育ちが早く、特別な世話も要りません。

《ポイント》

葉や花にゴマの香りとさわやかな辛さ、チョップリ苦味あり。サラダや炒め物、おひたしに。寒さには強いが、高温には弱いので夏には日覆いして育てます。多湿にも弱いので梅雨時には雨除けをするほうがよいでしょう。

1 種まき

4月中旬までに、プランターに幅2cm、深さ1cmの溝をつけ、種を1.5cm間隔にばらまきます。



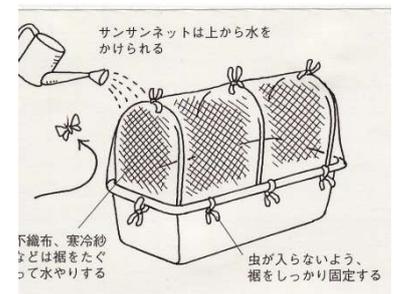
2 間引き

本葉2枚の時に株間4-5cmに間引きます。

3 追肥・害虫防除

本葉3-4枚のとき、1列当り大さじ1杯の緩効性化成肥料を施し土と混ぜます。

アブラムシなどの害虫がつきやすいので、防虫ネットを張ります。



4 収穫

葉の長さが15cm以上に伸びたら収穫できます。収穫の方法は

①株ごと引き抜く。 ②外側の葉を摘み取る。 の2通りがあります。

